

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名	富士見小学校	学年	1 学年
授業者氏名 赤堀 万里子 奥原 健斗			
題材名 「ことばをはっきり言えるように、パタカラ体操で口を動かそう」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 音読を始めた子どもたちが、パタカラ体操で口や舌の動きをよくしてから音読することで、口の開き方や舌の動きを意識してはっきりした発音で音読しようとする気持ちをもつ。			
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ○パタカラ体操の動画 ○口の形のイラスト（国語の教科書）			
成 果 ○子どもたちはパタカラ体操を保育園で実施していたのでよく知っていたが、国語の発音の学習と一緒に扱ったため、音読とつながることは今回初めて意識することになった。パタカラ体操だと自然と口の動きに意識が向くため、音読の時にも同じように動かそうと働きかけることで、口の形を意識しやすくなった。日常の音読と口腔ケアをつなげることができそう。			
課 題 ○パタカラ体操の効果を「発音」だけにとどめずに、「健康」とどうつなげていくか。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 富士見小学校	学年 2
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯ブラシをチェックしよう！」(生活)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 昨年度、歯みがきの大切さについて学んだ子どもたちが、自分の歯ブラシの状態に着目し、チェック表を使って、自分の口の大きさに合った歯ブラシか、毛先が開いていないか、毎日洗ってきれいな状態であるかを確認したり、歯ブラシを洗わないとどうなるか等についてまとめた動画を見たりすることを通して、歯ブラシを適切に管理しようとする態度を身につけることができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYTのイラスト等) ・歯ブラシチェックカード ・動画「歯ブラシを元気にしよう！」	
成 果 ・チェック表で確認したことで、自分の歯ブラシの状態を具体的に把握(大きさ・毛先・清潔さ)することができていた。 ・歯ブラシの状態から、自分の日頃の様子を振り返り、今後の歯みがきの仕方について考えている子どもがいた。 ・動画から「歯ブラシを使用後は、風通しのよいところで乾かすとよい」ということを学び、「窓近くで乾かす(帰宅前にしまう)」というクラスの決まりが生まれた。	
課 題 ・単発で終わりにしないように、6月や7月にもチェックを行い、歯ブラシをよい状態に保つことや子どもたちの意識の高まりの継続をねらいたい。	

学校名 富士見小	3 学年
授業者氏名 星野 こず恵	
題材名 「歯科検診の結果を見て自分の歯の今の状態を知ろう」	
主 眼 給食後の歯磨きを毎日続けている子どもたちが、歯科検診結果を見て自分の口腔内の状態に着目し、健康な歯や虫歯、治療した歯などを歯の図に色分けしたり、歯垢や歯ぐきの状態について当てはまる状態を記入したりすることを通して、自分の口腔内に合った今後の課題について考えることができる。	
学習材 ・ R8 年度歯科検診カード ・ 歯の図、歯科検診の記号についての学習カード	
成 果 ・ 歯科検診カードの見方を理解するのに時間がかかる子もいたが、歯の図や／、○等の記号の見方を知ると、自分の検診結果を見て熱心に歯の図に色分けする様子が見られた。 ・ 1, 2 年の検診結果と比較して、永久歯が増えたことや虫歯が増えたことに気づく児童もいた。 ・ 個々での振り返りでは自分の課題に対する考えが多かったが、今回 3 学年が全体的に虫歯の児童が増えたことを知り、学級全体での改善策として多くの意見が出た。日々の歯みがきタイムについて取り組み方を見返すよい機会となり、その後、時間に間に合うように準備したり鏡を持参したりして以前より丁寧に磨く子が増えた。 「歯みがきタイムまでに食べ終わることができないことがあるから、準備をもっと早くするといいい（給食室が 2 年生の時より遠いし専科の授業が増えたから遅くなることがある）。」 「時間を意識しながら食べて、歯みがきタイムまでにしっかり歯みがきの準備をする」 「歯みがきに慣れて、細かく磨けていなかったから、ちゃんと磨く」 「かみあわせ（咬合）に心配があったから、パタカラ体操をみんなでやりたい」 など	
課 題 ・ 今後も歯みがきやパタカラ体操について、自分の取り組みや学級の取り組みの様子を見返す機会をもちたい。また、「今回、いけないところがなかったから、この状態が続くようにしたい」「次の検診では虫歯がないように、早めに歯医者に行ったり、歯みがきをきちんとしてほしい」などと振り返った子が多かったので、秋の検診でも、歯科検診結果を見返すとともに、今回と比較して目に見える形で成果を感じられると日々の口腔内の健康への意識が高まるのではないかと感じた。	

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名 富士見小学校	4 学年
授業者氏名 野田 直美	
題材名 「春の歯科検診の結果をふりかえろう」	
主 眼 3 年時に歯科医が歯科健診のときに使う記号の意味を知った子どもたちが、春の歯科健診の結果を見て自分の歯の現在の状態に着目し、健康な歯や虫歯、治療した歯などを歯の図に色分けしたり、歯垢や歯ぐきの状態について当てはまる状態に丸をつけたりすることを通して、自分の歯の状態を知り、今後の歯みがき等に活かそうとすることができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・ R8 年度春の歯科健診カード ・ 学習カード (色分けをするための歯の図・各記号の意味)	
成 果 ・ 昨年度、春と秋の 2 回、歯科健診の結果をふり返った経験があるため、戸惑うことなくスムーズに色分けしたり、歯科健診で使われる記号を使って自分の歯の状態について気づいたことを伝え合ったりすることができていた。歯科保健大会が終わっても、春と秋の歯科健診の後には、自分の歯の状態を知り、日頃の歯みがきについて見つめ直す機会を設けると、自分の歯に関心をもつ良い機会になると考える。 ・ 前回、C0(虫歯に進行する可能性のある歯)だったが、半年間その部分を意識的によく磨くよう心がけた結果、斜線／(健康は歯)に戻っていたという児童が何名かいた。歯みがきの効果を実感し、今後の歯みがきへのさらなる意欲につながったように思う。 ～子どもたちの感想より～ ・ 永久歯が 3 年生のときよりも増えていた。虫歯がゼロだから、今の歯みがきをこのまま続けていきたい。 ・ 3 年生のときは、大人の歯が 9 本だったけれど、4 年生になったら 12 本になっていて、大人の歯が何本あるか全然知らなかった。自分が大人に近づいているんだなと思った。 ・ 昨年より斜線が減ってしまったから、手鏡を見たり、清潔な歯ブラシで磨いたりしたい。奥歯が C0 だったから、たくさん歯みがきをして健康は歯に戻したい。 ・ 下の乳歯の E が C0 になっているのは、そこをたまにしか磨いていないからだと思うから、奥歯の溝をしっかりと磨いて、乳歯の E を斜線(健康な歯)に戻したい。 ・ 歯がきれいに磨けていて、斜線しなくて嬉しかった。歯をしっかりと磨くことは大切だと思った。これからもたくさんしっかりと磨いて歯を大事にしたい。 ・ 今回、G(歯石がつき、歯肉が赤く腫れたり出血したりする状態)があったから、ちゃんと丁寧に優しく磨きたい。虫歯になりやすい奥歯はちゃんと磨けていてよかった。	
課 題 ・ 今回の学びを実生活に活かし、自分の歯の状態に合った歯みがきを継続していくこと。 給食後の歯みがきに集中して取り組めるよう、必要に応じて個別に声がけをしていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 5月

学校名	富士見小学校	学年	5 学年
授業者氏名			
千野 孝幸			
題材名			
「歯科検診よう」			
主 眼<フォーマット>			
〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼			
自分の歯ブラシの点検の仕方について学んだ子ども達が、自分の歯科健診の結果に着目し、健診結果をもとに学習カードに色ぬりをするを通して、自分の今の歯の状態を認識し、今後の自分の歯の状態や維持の仕方について考える力を培うことができる。			
学習材			
（本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・ 歯科検診の個人結果票 ・ 学習カード			
成 果			
・ 今までなんとなく聞いたり見たりしていただけた自分の検診結果について、歯科検診の票の見方を学んだことでより自分の歯の状態についての興味・関心を高める機会になった。			
課 題			

学校名	富士見小学校	6 学年
授業者氏名	森下 侑也	
題材名	「歯科健診の結果を見て自分の歯の今の状態を知ろう」	
主 眼<フォーマット>	〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼	給食後の歯磨きを毎日続けている子どもたちが、歯科健診結果を見て自分の口腔内の状態に着目し、健康な歯や虫歯、治療した歯などを歯の図に色分けしたり、歯垢や歯ぐきの状態について当てはまる状態を記入したりすることを通して、自分の口腔内に合った今後の課題について考えることができる。	
学習材	（本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ・ 歯科検診の個人結果票 ・ 学習カード	
成 果	・ 普段あまり自分の歯について興味が弱い児童も興味を持って自分の結果を見ていた。 ・ 歯科健診の票の見方を学んだことでより自分の歯の状態についての興味・関心を高める機会になった。 ・ 給食の後の歯みがきタイムにすばやく歯みがきを終わらせたり、磨かなかったりした児童もその日の歯みがきではよく磨こうと意識をしている様子があった。	
課 題	・	